



学校教育目標 <<本物の【あかぎの心】を育てよう>>

# モッテコイ 諏訪小魂！

長崎市立諏訪小学校 校長 山崎 直人

## 見直そう、メディア機器との付き合い方

先日発行した「新年度のスタートにあたって保護者の皆さまにお伝えしたいこと」に、メディア機器との付き合い方について掲載しておりました。このことについて、少し詳しく提案したいと思います。

大前提として、メディア機器の利用についての考え方や取組は、各家庭で異なり、その責任は保護者にあります。学校としてできるのは「提案」や「お願い」であり、「こんな心配がありますよ」「こんな懸念をしています」とお伝えして、ご協力を願うことだけなのです。

それでも、今、強く見直しをお願いしたいと思うのは、具体的な問題が発生してきているからです。ネット上でのトラブルが現実の学校生活に影響を及ぼす事態となっています。私たちが危機感を抱くのはそのためです。是非ご協力ください。

### その1 みんなで取り組もう「9時までルール」

「いくら言っても聞かない」「返信しないと無視したと思われるようだ」「我が家だけ頑張っても仕方がない」等、家庭でも悩ましいのが9時以降の使用です。一斉に「せーの」で取り組むしかありません。

そこで提案です。5月からは一斉に諏訪小の子たちは「9時までルール」を守ることにしませんか。その宣言メールを配信するのです。

我が家は「9時までルール」に取り組みます。  
9時以降は連絡が取れません。  
みんなで一緒に「9時までルール」に取り組みましょう！

というような内容を互いに送り合うことで、つながらないことを恐れることなく、安心して過ごせるはずですよ。いかがでしょうか。

### その2 本当に大丈夫？ オンラインゲーム

対象年齢15歳以上のオンラインゲームは、対象年齢以下の者が「してはいけない」という制約ではありません。だから「してよい」と捉えていいのか、その判断は、保護者にあります。そして判断基準は子供が言う「みんなやっているから」ではなく、どうか保護者の方自身がその目で見（または一緒にしてみ）判断してほしいと思います。

よくある問題は「暴言」「仲間外し」「不特定の人とのつながり」「課金」です。

学校では「命」を大切にすることを教えます。家庭でもそうでしょう。けれど、学校や家庭での教育とは異なるネット空間で「暴力や殺戮」を学んでいるとしたら恐ろしいことだと思います。もちろん健全で明るい気持ちになるゲームもあるのでしょうか。乗り越し苦勞の杞憂ならいいのですが。

### その3 あらためて見直そう、家庭のルール

昨年度10月に発行した学校だよりにも掲載しましたが、あらためてメディア機器の利用についての家庭のルールを見直していただけたらと思います。

大前提にさせていただきたいのは、スマホでも携帯でもゲームでもタブレットでも、「子供のものではない」ということです。子供自身が責任をもって運用できる範疇を越えているものだからです。

家庭のルールを見直すにあたって、大前提とすべき最も重要なことは、次のことです。

スマホ等メディア機器は親の所有物であり、約束を守るという条件で、親の許可の上で子供に貸し出しているのだ。

責任も権利も親が持っているということに自信をもっていただきたいのです。（裏面参照）